

# 大規模災害を想定した災害対応訓練(第3回)を実施

平成29年度(一社)三重県建設業協会 実施事業

----- 開催日時：平成29年9月5日(火)～6日(水) -----

開催場所：

5日 情報伝達訓練 — 三重県内一円

6日 災害対応訓練(実地) — 伊勢市中須町地内(宮川左岸河川敷グラウンド)

参加者：257社、444名 参加重機：29台 参加車両：37台ほか

共催：国土交通省三重河川国道事務所・三重県

## 事業内容：

(一社)三重県建設業協会は中部地方整備局三重河川国道事務所並びに国の県内各事務所及び三重県と共に大規模災害の発生を想定した災害対応訓練(第3回)を実施しました。

この災害対応訓練は国や県と締結している「災害発生時の災害協定」に基づく訓練で、応急復旧作業を迅速に行い、地域住民の安心・安全を確保するため、(一社)三重県建設業協会の組織力と会員企業の総力を結集した組織的な訓練です。

大規模災害が発生した場合には発生地域の会員企業だけでは対応が困難となる場合も想定されることから、(一社)三重県建設業協会の災害発生地域以外の支部(地域)から資機材や作業員などが支援活動を行うため、会員企業が総力を結集し、被災地域の応急復旧活動をいち早く実施するための訓練です。

5日に実施した情報伝達訓練では、(一社)三重県建設業協会が立ち上げた携帯電話のメール機能を活用した「情報共有システム」を活用し、会員企業とその従業員に直接安否確認や連絡を行い、更に携帯電話で撮影した状況写真をこの情報共有システムに送ることで、写真に添付されている位置情報によりシステムの地図上に撮影箇所が表示されることで被災状況の情報をいち早く入手しようとするものです。この情報はインターネットを経由して、三重河川国道事務所や三重県の施設災害対策課並びに県内各建設事務所で閲覧ができ、被災状況の共有に有効な手段となることを検証しました。

6日の災害対応訓練(実地)では、前日に実施した情報伝達訓練により伊勢市中須町地内で大規模な災害が発生し、伊勢支部の会員企業だけでは対応が困難との想定のもと、三重県建設業協会が組織力を十分発揮し、県内の他の11支部が支援隊を結成し、重機や作業車などのほか作業員を派遣して参加者全員が一致協力して支援活動を実施しました。

災害対応訓練当日は、渡邊三重県副知事、鈴木伊勢市長、竹内志摩市長、末松鈴鹿市長のほか、岩下三重河川国道事務所長ほか県内各事務所長、水谷三重県県土整備部長ほか県内の各建設事務所長、三重県警や伊勢市消防本部ほか多くの行政関係の防災担当者の皆様に訓練の様子をご覧いただきました。

この災害対応訓練には、県内の各支部から会員企業257社とその従業員444名が参加し、29台の重機やダンプトラックなどの作業車37台を持ち込み一致団結して訓練を実施しました。更に三重河川国道事務所が所有する排水ポンプ車や照明車、パトロールカーにも参加していただき、官民一体となって訓練を行いました。

実施した訓練は、道路啓開訓練(崩落土砂撤去訓練・放置車両撤去訓練)・浸水地域解消訓練(ポンプ車による排水訓練・根固めブロック設置訓練・大型土嚢作成設置訓練・小型土嚢作成設置訓練)・応急仮設橋設置訓練などです。

(一社)三重県建設業協会ではこのような災害対応訓練を実施することで、大規模災害発生時に会員企業が相互に協力して、災害協定に基づく応急復旧活動が迅速に実施できるよう取り組んでいます。

